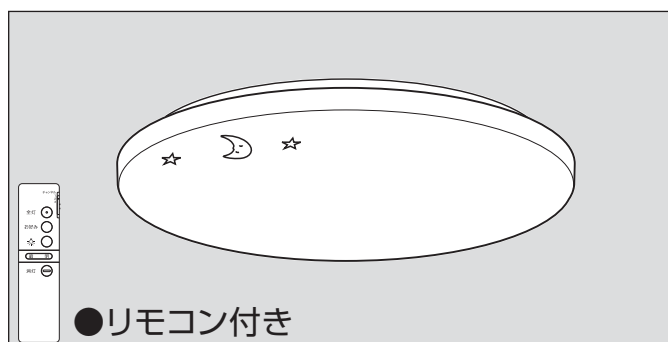


保管用

施工説明付き

保証書別添付



取扱説明書

住宅用照明器具 (シーリングライト)

品番 HHFZ4285

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
照明器具を取り外す	5
ランプを交換する	5
あかりをつける・消す	6
照明器具のチャンネルを変更する	7
カバーの絵柄について	7
お手入れについて	7
ご使用上に関するお知らせ	裏表紙
故障かな?と思ったら	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を
必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず
確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれのある内容」です。

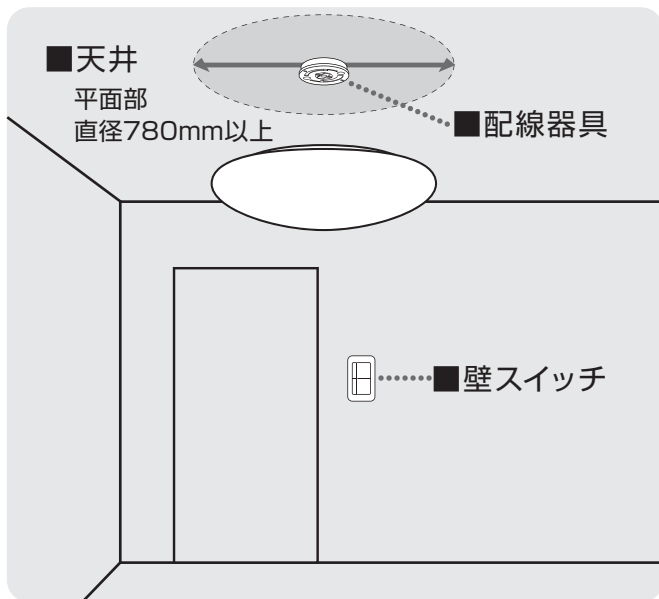


してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



天井



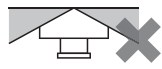
必ず守る

●平面部が直径780mm未満の天井に取り付けない (例：上図)

落下によるけがのおそれがあります。

●凹凸のある場所に取り付けない

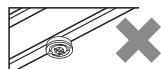
落下によるけがのおそれがあります。



船底天井



格子天井



竿縁天井



禁止

●傾斜した場所に取り付けない

火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は水平天井面取り付け専用です。



禁止

配線器具

●がたついたり、破損している配線器具 (ローゼット・引掛シーリング) には取り付けない

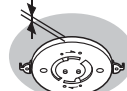
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 がたつき・破損



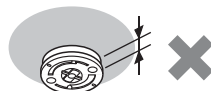
●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

出しろの少ないもの

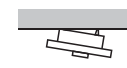


ローゼット10mm未満



引掛シーリング19mm未満

斜めに取り付けられたもの



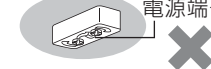
シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ



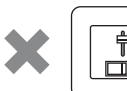
壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

その他

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



分解禁止



必ず守る

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口 (保証書内在中) にご相談ください。

⚠ 注意

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください



必ず守る

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。

◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

仕様	使用電圧	周波数	消費電力	ランプ
	AC100 V	50/60 Hz共用	70W (リモコンOFF時 1W以下)	85形ツインバルックプレミア蛍光灯 クール色

照明器具

本体取り付け用付属部品

アダプタ (1個)

補修品番NZ2716M

ボタン

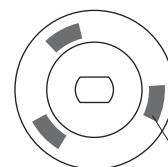
配線器具

(付属していません。)

本体

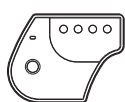
(アース端子があります。)

※器具本体裏面に3ヶ所ついている黒スポンジは取らないでください。



黒スポンジ

リモコン受信器



操作方法は、6ページ参照

ソケット



ランプ口金



コネクタ

LED (常夜灯)

ランプ支持バネ (2カ所)

※固定用テープをゆっくりとはがしてください。

ランプ 85形ツインバルックプレミア蛍光灯

交換方法は、7ページ「お手入れ・ランプ交換」参照

※ランプを動かすと音がする場合がありますが、異常ではありません。

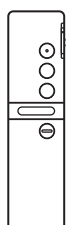
カバー

(低誘虫UVカット仕様)

リモコン付属部品

リモコン HK9327K (1個)

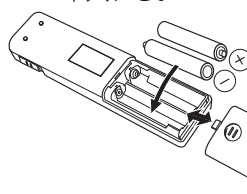
操作方法は、6・7ページ参照



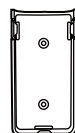
単3形乾電池 (2本)



- リモコンの裏ボタンを開けて、単3形乾電池を2本入れる。



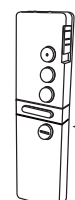
リモコンボックス (1個)



リモコンボックス用木ネジ (2本)



- リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



壁面

リモコンボックス

木ネジ

下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

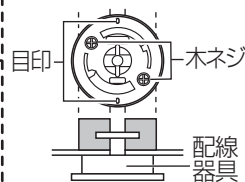
※工事には資格が必要です。

警告



必ず守る

目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付ける
落下してけがのおそれがあります。



1 天井についている配線器具を確認する

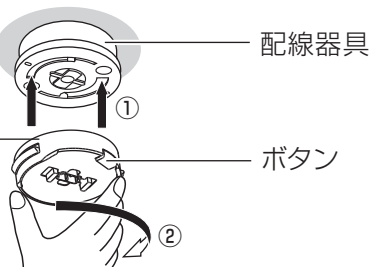
天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

2の作業へ進んでください。

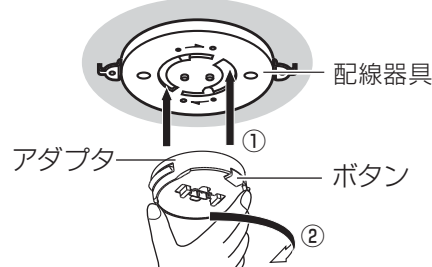
WG5005 WG5015 丸型フル引掛 シーリング	WG6005 フル引掛 ローゼット	WG1000 角型引掛 シーリング	WG4000 WG4420 WG4425 WG1500 丸型引掛 シーリング	WG6000 WG6420 WG6130 引掛埋込 ローゼット	WG6001WK 引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)
天井からの出しろが 22 mm の配線器具				天井からの出しろが 11 mm の配線器具	

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる



②アダプタを
右に回して
取り付ける

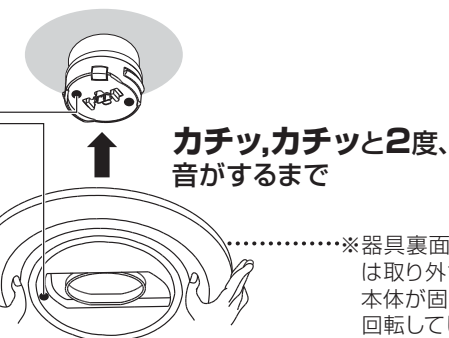


3 本体を押し上げて取り付ける

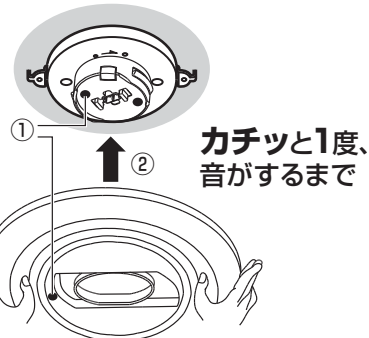
◎取り付けの際、ランプを持たないでください。

①印(黒丸)を
合わせる

②カチッと音が
するまで本体を
押し上げる

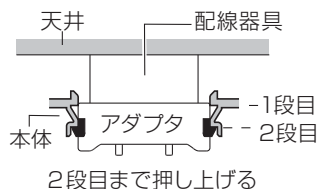


※器具裏面の黒スポンジは取り外さない。本体が固定されず回転してしまいます。

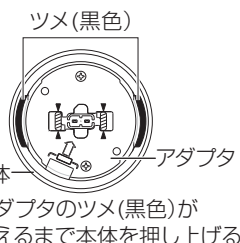


●アダプタの本体取り付け位置

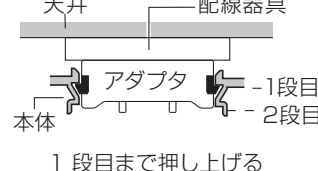
横から見た図



下から見た図



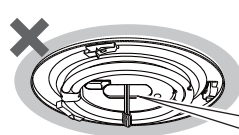
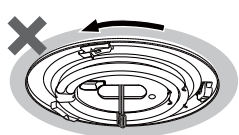
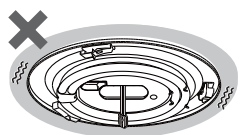
横から見た図



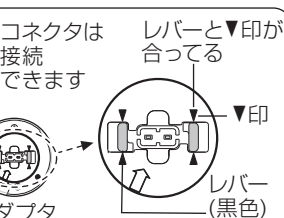
確認

本体が正しく
取り付けられて
いるか確認する。

本体がグラグラする
正しく取り付けされていない場合は
3を再度行ってください。

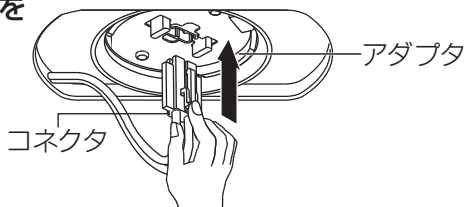


○コネクタは
接続
できます



4 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタを
確実に
差し込む

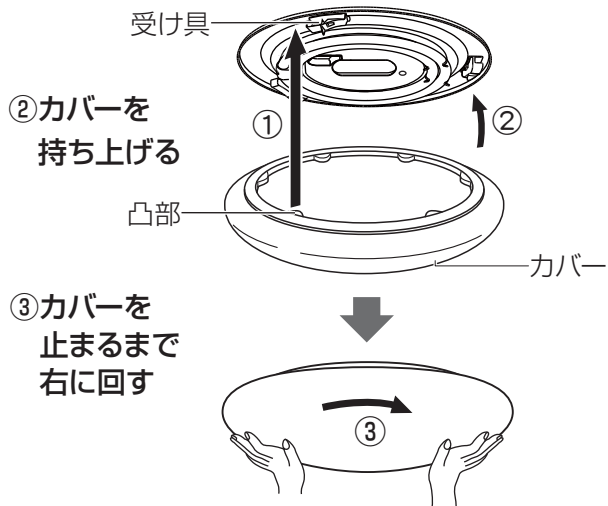


確認

コネクタが差し込めない場合は
本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ **3** に戻る。

5 カバーを取り付ける

①カバーの凸部2カ所を本体の受け具と受け具の間に
合わせる



! 注意

!
必ず守る

カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

確認

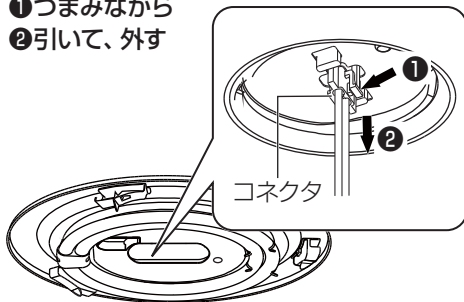
バランスを見て、カバーが水平に
取り付けられていることを確認する。
→水平ではない場合は、再度、**5** を行う。

照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

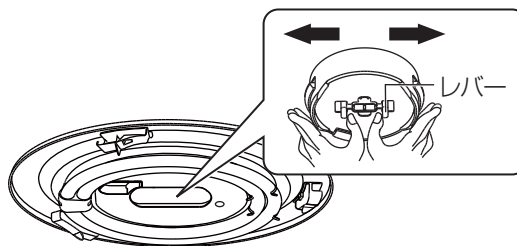
①コネクタを外す

①つまみながら
②引いて、外す



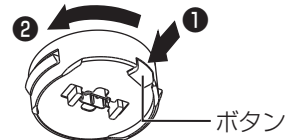
②本体を外す

本体を支えながらレバーを
矢印の方向(左右)に広げる



③アダプタを外す

①ボタンを押しながら
②左に回す



ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●ランプの明るさが低下したり、
点滅をくり返したりするようになると寿命です。
ランプを交換してください。

●パナソニック製ツインパルック
プレミア蛍光灯をお買い求め
ください。種類が同じで光色の
異なるランプも使用できます。

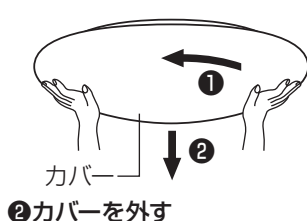
ランプの種類が
表示されています



ランプの交換方法

①カバーを取り外す

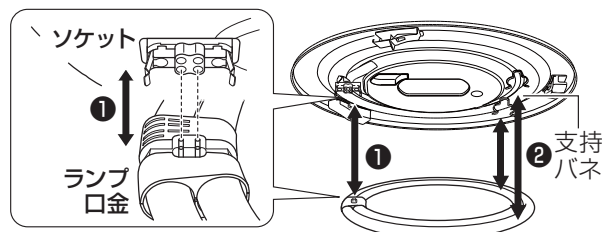
①カバーを止まるまで左に回す



②古いランプを取り外す

①ランプ口金側を外す

②支持バネ側を外す



③新しいランプを
取り付ける

①ランプ口金を確実に
ソケットに差し込む

②支持バネで固定する

④カバーを取り付ける

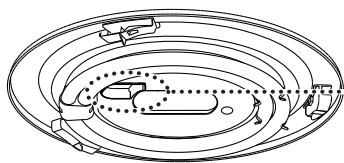
上記
「照明器具を取り付ける」
手順 **5** 参照

あかりをつける・消す

リモコンで照明器具を操作する

壁スイッチはONの状態にしてください。

リモコン受信器 (本体)



リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
※傷つけたり、汚したりしないでください。

リセットスイッチ

動作が異常の場合の初期化などに使用
各種設定を出荷時の初期設定に戻せます。

音切入設定スイッチ

押すごとにリモコン操作時の音を切/入

チャンネル設定スイッチ

器具のチャンネルを設定する場合に使用
☞ 7ページ「照明器具のチャンネルを変更する」参照

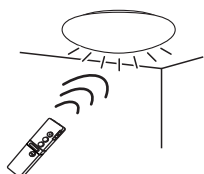
OFF/ONスイッチ

押すごとに消灯/全灯

リモコン

送信のしかた

必ず「リモコン送信部」
を器具に向けて操作
してください。



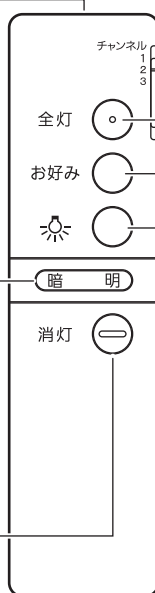
リモコン送信部

※傷つけたり、
汚したりしないで
ください。

明/暗ボタン

蛍光灯点灯時
100%～約10%に
明るさを連続調整
LED点灯時
6段階に
明るさを調整

消灯ボタン



チャンネルスイッチ

操作する器具のチャンネル (1～3) を設定
☞ 7ページ「照明器具のチャンネルを変更する」参照

全灯ボタン 蛍光灯が100%の明るさで点灯

- ◎全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを
100%～約10%の範囲で設定できます。
- ①「全灯ボタン」を押す
- ②リモコン受信器の「OFF/ONスイッチ」を
「ピッ」と音がするまで押し続ける
- ③「明/暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節
- ④「全灯ボタン」を押す
- ⑤本体から「ピーッ」と音がして変更完了



お好みの明るさボタン

蛍光灯が明/暗ボタンで変更した明るさで点灯

LED (常夜灯) ボタン

LEDが明/暗ボタンで変更した明るさで点灯
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

付属のリモコンの他に、下記のリモコンで操作ができます。



HK9392K

- タイマー機能
- 蛍光灯、LEDの明るさを
変更可能
- 蛍光灯、LEDをダイレクトに
切り替え可能

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

壁スイッチ
ON



点灯

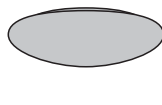


記憶している
前回の「消灯前の明るさ」で
点灯します

壁スイッチ
OFF



消灯



今回の「消灯前の明るさ」を
記憶して消灯します

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると
点灯状態が切り替わります。



お好みの明るさ

全灯

それぞれの点灯状態は
リモコンで記憶した
明るさ

LED
(常夜灯)

HHFZ4285-T3C

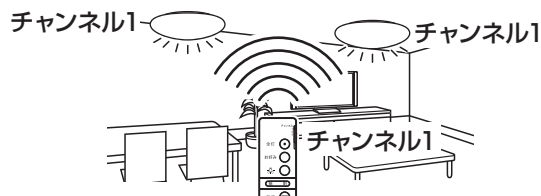
照明器具のチャンネルを変更する

複数のリモコン照明器具を操作できます

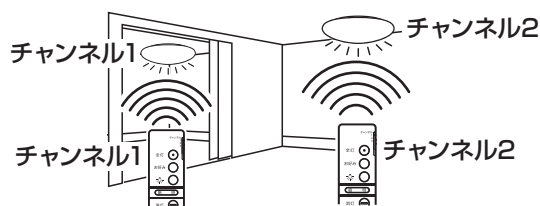
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



チャンネルの設定方法

- ① チャンネル設定スイッチ
リモコン受信器の「チャンネル設定スイッチ」を押す
- ② チャンネル
1
2
3
リモコンの「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネルに合わせる
(例: チャンネル1)
- ③ 全灯
リモコンのいずれかのボタンを押す
↓
「ピーッ」と音がして設定完了

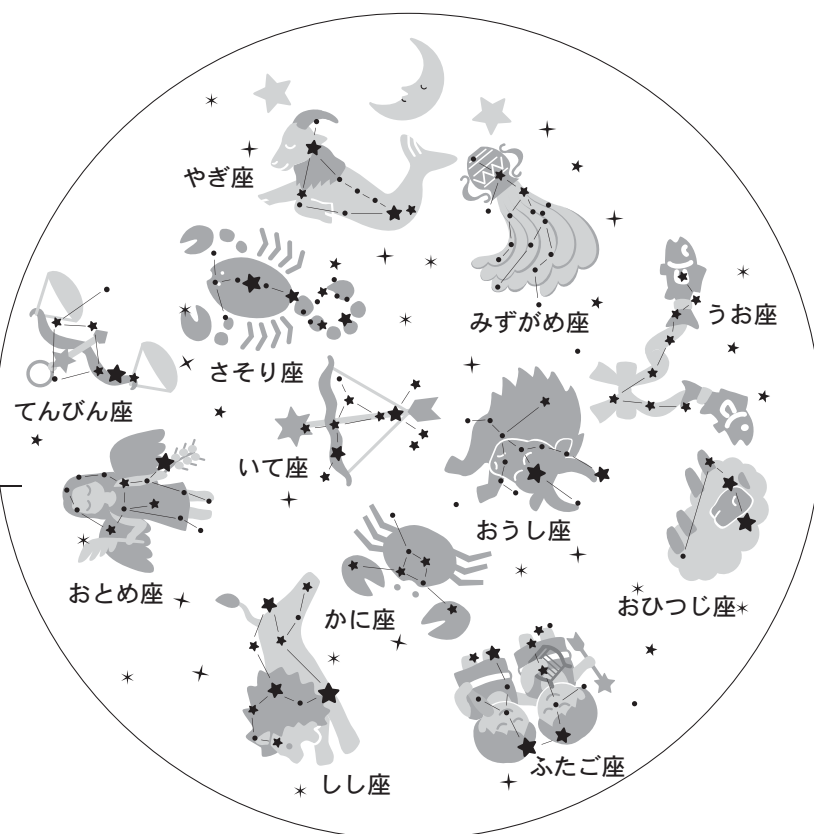
カバーの絵柄について

あかりを消すと暗闇に星座の模様が浮かび上がります。
消灯後約10分間は鮮やかに、その後もほのかに光りつづけます。

各星座名は右図をご参照ください。

※実際のカバーには星座名および星座のキャラクターの絵柄は記載されておりません。

カバー表面



お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的 (6カ月に1回程度) に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。
- 電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の電池は、保管状況により性能が落ちることがあります。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチック伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間がかかったり、温まるまでちらつくことがあります。また、点灯直後のリモコン動作が悪い場合があります。
- 非常に短い停電があると点灯状態が変わる場合があります。
- 低誘虫（虫がよってこない）機能は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また周囲の光環境によっても効果に差が生じます。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	コネクタを一度抜き、本体を押し上げてからコネクタを再度、差し込む	4ページ③ 5ページ④
	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む	5ページ
	ランプが切れている	ランプを交換する	「ランプを交換する」
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	6ページ 「壁スイッチで照明器具を操作する」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	3ページ
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	「各部のなまえと付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルスイッチを変更して操作する	7ページ 「照明器具のチャンネルを変更する」

上記の処置を行っても
現象が続く場合

- ①電源をいったん切り再度入れる
②器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③器具のチャンネルを変更する ⑦ページ「照明器具のチャンネルを変更する」参照

- 上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、「修理ご相談センター」へ！
- その他は、「お客様ご相談センター」へ！
(連絡先は保証書内在中)

■保証書(別添付)

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保管してください。

保証期間はご購入日より1年間です。

但し、安定器については3年間です。(ランプなどの消耗品は除きます。)

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

■補修性能部品の保有期間 6年

この照明器具の補修性能部品(電気部品)を製造打ち切り後最低6年間保有しています。

注) 補修性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

ご連絡いただきたい内容

- ①製品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④異常の状況(できるだけ具体的に)

- 保証期間中は、お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご持参ください。販売店が修理させていただきます。

- 保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

- 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用です。
部品代	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	ご依頼により技術者を派遣する費用です。